

生涯教育研修会報告書

細胞検査研究班

学発番号 12-011

平成24年7月21日

報告者

所属 宇治徳洲会病院

氏名 江口 光徳

連絡先 0774-20-1111 (代)

会員番号 264509-0255

行事名：細胞検査分野 実技講習会

日時：平成24年7月21日 土曜日 13:00～17:00

会場：京都保健衛生専門学校 実習室

主題1：胆管・膵管の細胞診

講師所属：大阪府立成人病センター 臨床検査科

講師名：竹中 明美技師

主題2：胆管・膵管の細胞診 鏡検実習

講師所属：大阪府立成人病センター 臨床検査科

講師名：竹中 明美技師

共催：日本臨床細胞学会 京都府支部 細胞検査士会

分類：専門 検体検査-20点

全体参加人数：34人（日臨技会員20人、京臨技のみ会員2人、細胞検査士会12人）

以下、講演内容など

講演では、胆管・膵管の細胞診について標本作成の話から始まり、疾患の判定基準の話までであった。疾患の中でも特に膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）など鑑別が難しい病変を略図や写真を用いて色々と比べながら説明していただき、分かりやすく勉強になった。演者の施設では多くの症例を扱っておられ、その中でも最近増えてきている EUS-FNA での検体処理や、見られる細胞像なども教えていただき大変参考になった。

鏡検実習では胆管・膵管の症例で30症例と多くの症例を持ってきていただいた。1症例4分ずつ鏡検して各症例の特徴などを見ていったが、全部見るのに3時間近くかかり、非常にタフな鏡検実習であった。スライドグラスに加え主な細胞像や所見のポイントなどを印刷したファイルを症例ごとに用意していただき、大変勉強になった。今後のルーチン

を見る際にも役に立つ経験ができ、大変有意義であった。この講習会で得た知識や、経験を今後に活かして生きたいと思う。